

玉井小だより

平成28年11月2日
大玉村立玉井小学校

TEL (48) 3302

発行者 校長 佐藤一男

「しっかり前を見て走るんだよ」



あだたら健康マラソン大会が今週土曜日に迫ってきました。大会に向けて武田智道さんが指導に来てくださいました。10月25日(火)には1, 3年生が、27日(木)には2年生が指導していただきました。

みなさんもよくご存じのように武田さんは、「ふくしま駅伝」大玉村チームのコーチ兼選手です。

「下を見ないで、しっかり前を見て走るんだよ。前を走る人がいたら、前の人を見て追うんだよ。」

「手は空気を持つ感じで丸く握るんだよ。腕の力を抜いてリラックス、力が入ると疲れるから・・・。」などと、長く

【一緒にランニング】

走るときのポイントを子供たちによく分かるように教えてくださいました。武田さんをはじめ、毎朝、子供たちと一緒に走ってくださる牧野先生など、子供たちは地域のみなさまにお世話いただいて、がんばっています。

震災から「2, 049日」

10月20日(木)6年生が、三春町の福島県環境創造センターの交流棟「コミュタン福島」を見学してきました。この施設は放射線や環境問題を正しく理解できるようにとつくられました。今年の7月にオープンしたばかりです。

その施設の見学から帰ってきて、6年生の子供たちが感想をまとめました。とてもしっかりとした考えが書かれていて頼もしく思いました。



【放射線量を測定する体験】

私は、はじめて「コミュタン福島」に行きました。とても楽しくて、勉強になることばかりでした。スタッフの方々がとてもやさしく、ていねいに教えてくださいましたおかげで、初めて分かったこと、詳しく知ったことがたくさんありました。本当にあり

〈裏へ続きます〉

がとうございました。

私が、特に心に残ったのはシアターと「3. 11クロック」です。シアターでは、大迫力の映像で自分たちが動いているような感覚になり、とてもおもしろかったです。

「3. 11クロック」は、「2011年3月11日14時46分」からの時間を計っています。私が見たときは「2049日18時間57分17秒」でした。あのときから2049日も経っているなんてびっくりしました。つらいことや悲しいことがありますが、今では、少しずつ歩み続けて乗り越えているんだなと思いました。

コミュタン福島に行って、たくさん分かったこと、感じたことがありました。「3. 11」からの復興への福島の歩みを、私たちが支えていき、福島の復興に貢献できればと思います。今度は家族や友達と行きたいと思います。

本当にありがとうございました。（6年 菅野 栞）



【3. 11クロック】

あの震災当時、今の6年生は小学校入学を前にした幼稚園の年長児でした。はっきりとした記憶はないのかもしれませんが。

しかし、今回のように東日本大震災や放射線などについて学習する機会をつくっていくことで、子供たちは福島の実現を理解し、ふるさとや自分たちの未来をしっかりと考えるようになるのだと思いました。

「みんなが主役！ 光り輝く発表会！！」



【ボランティアのみなさん】

今年の学習発表会のスローガンです。全校生に募集し、実行委員会で話し合っ、決めました。

子供たちは、みなさんに見てもらおうと、毎日一生懸命練習しています。また、「本揃田植え踊り」の着物の着付けなどボランティアの皆さんにもご協力いただいています。本当にありがたく思っています。

当日はステージの上で、子供たち一人一人がキラキラ輝く姿を見ていただけたと思っています。

〈平成28年度 玉っ子学習発表会〉

- 期日 11月12日(土) 8:25開会
- 会場 玉井小学校 体育館